

今後のスクリーニングのイメージ

平成29年9月6日

3次スクリーニングのイメージ

事務局が想定している3次スクリーニングについては次のとおりであり、詳細な審議及び決定は第4回委員会において行う予定

○現時点で想定する評価項目

◆自然的条件

- ・表層地質
- ・地形判読
- ・希少動植物の生息地 等

◆社会的条件

- ・集落の立地状況
- ・水道水源の状況
- ・学校、病院の立地状況
- ・神社、仏閣の立地状況
- ・市町村指定の文化財の位置
- ・進入道路整備の必要性や廃棄物運搬の利便性

○現時点で想定する評価項目毎の評価の内容

調査方法	想定評価項目		評価の内容(一例)
既存資料による 机上調査	自然的条件	表層地質	「堆積物」や「岩」等によって評価を行う
		地形判読	地形図と航空写真から土砂災害の危険性について地形判読を行い、評価を行う
		希少動植物の生息地	調査対象地から生息地までの距離によって評価を行う
	社会的条件	集落の立地状況	調査対象地から最寄りの集落までの距離によって○△×評価を行う
		水道水源の状況	調査対象地から水道水源までの距離によって評価を行う
		学校、病院の立地状況	調査対象地から学校等までの距離によって評価を行う
		神社、仏閣の立地状況	調査対象地から神社等までの距離によって評価を行う
		市町村指定の文化財の位置	調査対象地から市町村指定文化財までの距離によって評価を行う
		進入道路整備の必要性	既存道路からの進入道路の整備が必要か否か等の評価を行う
		運搬道路の利便性	進入道路が接続する既存道路の車線数等の評価を行う

各項目の評価基準及び評価方法、並びに評価項目毎の重み付け等を検討する必要がある

4次スクリーニングのイメージ

事務局が想定している4次スクリーニングについては次のとおりであり、詳細な審議及び決定は第5回委員会において行う予定

○現時点で想定する評価項目

◆現地踏査（調査対象地内及び周辺環境）

- ・地形、地質の状況
- ・土砂災害の危険性の確認
- ・植生状況
- ・周辺の土地利用（水田・畑・果樹等）の状況確認
- ・建築物の立地状況確認
- ・既存道路の状況 等

◆航空レーザ計測による地形判読

- ・国土交通省実施の航空レーザ計測結果による地形判読を実施し、土砂災害の危険性を確認

◆概略施設計画案

- ・造成計画、施設配置計画等により、施設建設の可能性を検証
（平面図、標準断面図等の作成）

◆概算事業費

- ・概略施設計画案に基づく建設費用の試算
- ・施設の維持管理費用の試算
- ・用地取得の容易性（地権者数、判断できる用地取得の同意（又は同意の見込み）、用地取得費用の試算（路線価等を参考））

○現時点で想定する評価項目毎の評価の内容

調査方法	想定評価項目		評価の内容(一例)
現地調査	現地踏査	地形・地質	尾根や谷地形の形状等により評価を行う
		土砂災害の危険性確認	現地において土砂災害の履歴や危険性等を確認し評価を行う
		植生状況	「自然林」又は「植林の手入」等により評価を行う
		土地利用の状況	現地において周辺の土地利用状況を確認し評価を行う
		建築物の立地状況	1軒でも建築物が存在する場合、利用状況を確認し評価を行う
		既存道路の状況	「舗装の有無」や「補修の必要性」等により評価を行う
机上作業	航空レーザ計測による地形判読		土砂災害の危険性の程度により評価を行う
	概略施設 計画案	造成計画の容易性	造成計画の容易性により評価を行う
		施設配置の容易性	施設配置の容易性により評価を行う
		埋立容量	埋立容量の大小により評価を行う
	概算事業費等	地権者の数	登記簿調査等を基に地権者数により評価を行う
		同意又は同意の見込み	判断できる用地取得の同意の有無により評価を行う
		用地取得費	用地取得費用(試算)により評価を行う
		建設費	施設の概算建設費用を算定し評価を行う
維持管理費		20年間の維持管理費用を算定し評価を行う	

各項目の評価基準及び評価方法、並びに評価項目毎の重み付け等を検討する必要がある